

インターネットによる事業支援の試み —シルバー人材センター向け「経理ポータルサイト」—

野村総合研究所（NRI）では、20数年にわたりシルバー人材センター向けに総合情報処理システム「エイジレス80」を提供してきた。本稿では、高齢化の一層の進行でセンターへの期待がより高まるなか、NRI社会情報システムが「エイジレス80」とともにセンターの会計・経理を支援するサービスとして提供を開始した「経理ポータルサイト」について紹介する。

重くなる会計処理の負担

高齢者が自分の技能や経験を活かし、就労によって地域社会へ貢献することを通じて生きがいの創出や健康増進を図ることを目的に、各地にシルバー人材センターが設置されている。原則として市（区）町村単位に置かれる都道府県知事の許可を受けた公益法人である。2007年3月度には、団体数1,343、会員数約761,000人、契約金額は約3,240億円となっている（社団法人全国シルバー人材センター事業協会「平成18年度シルバー人材センター事業統計年報」）。

昨今、このシルバー人材センターに関係する大きな環境変化が起こっている。センターの会計処理に影響を及ぼす地方自治法や高齢者雇用安定法、公益法人会計基準などの法律がここ数年で相次いで改正されたことである。2008年12月には新しい公益法人制度が施行されることになっており、さらに複雑化する会計処理の負担は各センターにとって悩みの種となっている。

予算を確保できるセンターでは、公認会計士や税理士と顧問契約を締結して対応しているが、多くのセンターはそのための費用を確

保できず、組織の内部で会計処理を行っているのが現状である。センターが社会に期待されている役割の大きさとともに、事業責任者の会計責任も重いものがある。

“情報をつなぐ”プラットフォームを提供

以上のようなシルバー人材センターの会計業務を支援することを目的に、NRI社会情報システムがサービスを開始したのが「経理ポータルサイト」である（図1参照。<http://www.nri-social.co.jp/service/account.html>）。

同サイトは、シルバー人材センターの業務に精通した会計専門家（衣目公認会計士事務所）とセンターを「経理」をキーワードとする情報でつなぐプラットフォームを提供する。

センターの事業責任者あるいは経理担当者



図1 「経理ポータルサイト」の画面例



は、経理や会計、税に関して不明な点を解明するための情報収集を、このサイトを通じて容易に行うことができる。「経理ポータルサイト」は、顧客の業務をシステムで支援するという従来の付加価値創造型のソリューションと異なり、顧客のニーズに“情報をつなぐ”場を提供することによって応えるという新しいスタイルのソリューションと言える。

「経理ポータルサイト」は、ホームページを利用した月額利用料3,000円の情報提供サービスである。NRI社会情報システムはサイトの運用だけを行っており、コンテンツの監修はすべて衣目公認会計士事務所が行っている。

「経理ポータルサイト」のサービス内容

「経理ポータルサイト」が提供するサービスは大きく3つに分類することができる。

1つ目は制度関連情報の提供である。センターの会計に影響を与える情報収集には、会計の知識はもちろん、業界知識や関連法制的理解が必要である。業界に精通した専門家により情報の取捨選択が行われることで、センターは効率的に情報を収集することができる。

2つ目は会計ノウハウの提供である。経理ポータルサイトで紹介されている「資金繰り表例題」は、収支差額シミュレーションと特定積立預金の資金計画書を兼ねる様式になっている。この表は、事業の資金繰りと、センター事業が法人税の申告を要しないことを税務署長へ確認申請する際の補足説明資料とし

て活用できる。

また、衣目公認会計士事務所と顧問契約を結んでいるセンターの監査時に多く見受けられた問題点や気付いた点なども、「経理ポータルサイト」のユーザーが効率的に自己点検を行うためのポイントとして紹介されている。

3つ目は相談サービスである。ユーザーは、電子メールで経理・会計、税に関する相談をすることができる。追加調査が必要となる場合など、相談内容によっては有償となるケースがあるが、このサービスに接続すればセンターの業務に精通した専門家とコンタクトがとれるという安心感は、センターにとってきわめて大きいと言えよう。

事業支援型サービスによる価値の創造

以上のように、「経理ポータルサイト」は単なるシステムサービスの提供から、事業支援型のソリューションの提供へと踏み込んだものとなっている。そして「経理ポータルサイト」が提供する価値は、業界第一人者のナレッジと顧客のニーズをマッチングさせたところに生まれたものである。

高齢社会の進展とともに、シルバー人材センターにはさまざまな業務知識が要求されていく。このような知識をつなぎ、価値を生み出していくような業務支援サービスをこれからも開発・提供していきたい。シルバー人材センターが高齢社会の中で大きな役割を果たしていくことに期待している。 ■